



資料 3 - 3

# 株式会社 INCJ

## 投資実績とEXIT状況報告

2023年6月21日

代表取締役会長（CEO） 志賀俊之



# 会社概要

- **名称** 株式会社INCJ（カタカナ表記：アイエヌシイジエイ）  
英語表記：INCJ, Ltd.  
(INCJ：Innovation Network Corporation of Japan)
- **所在地** 東京都港区虎ノ門一丁目3番1号
- **設立** 2018年9月（株式会社産業革新機構から新設分割）
- **根拠法** 改正前の産業競争力強化法（平成25年法律第98号）と同趣旨の枠組みのもとで運営
- **資本金** 5億円

2009年7月、株式会社産業革新機構は、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的とする官民ファンドとして設立されました。そして2018年9月、株式会社INCJは、株式会社産業革新機構から新設分割・事業承継する形で発足しました。株式会社INCJは、引き続き同機構設置の根拠法である産業競争力強化法と同趣旨の枠組みのもとで運営されています。

# 組織及び執行体制

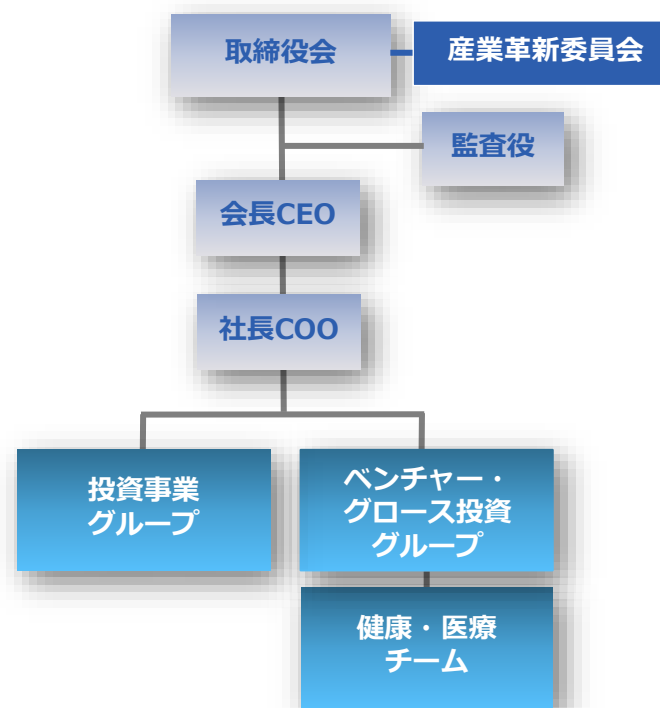
## 組織概要

- 従業員数 45名（他社からの出向者を含む／ 2023年3月末現在）
- 株式会社INCJにおける投資案件は、全て産業革新委員会の諮問を経て、取締役会にて最終決定
- 産業革新委員会のメンバーは、当社の代表取締役及び社外取締役で構成され、その客観性・中立性を担保

## 産業革新委員会メンバー

委員長	三村 明夫 日本製鉄（株） 社友名誉会長
委員（委員長代理）	國井 秀子 芝浦工業大学 客員教授
委員	棚橋 元 弁護士、森・濱田松本法律事務所 パートナー
委員	野田 哲生 公益財団法人がん研究会 代表理事・常務理事
委員	村岡 隆史 株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO
委員	志賀 俊之 （株）INCJ 代表取締役会長（CEO）
委員	勝又 幹英 （株）INCJ 代表取締役社長（COO）
監査役	高浦 英夫 公認会計士

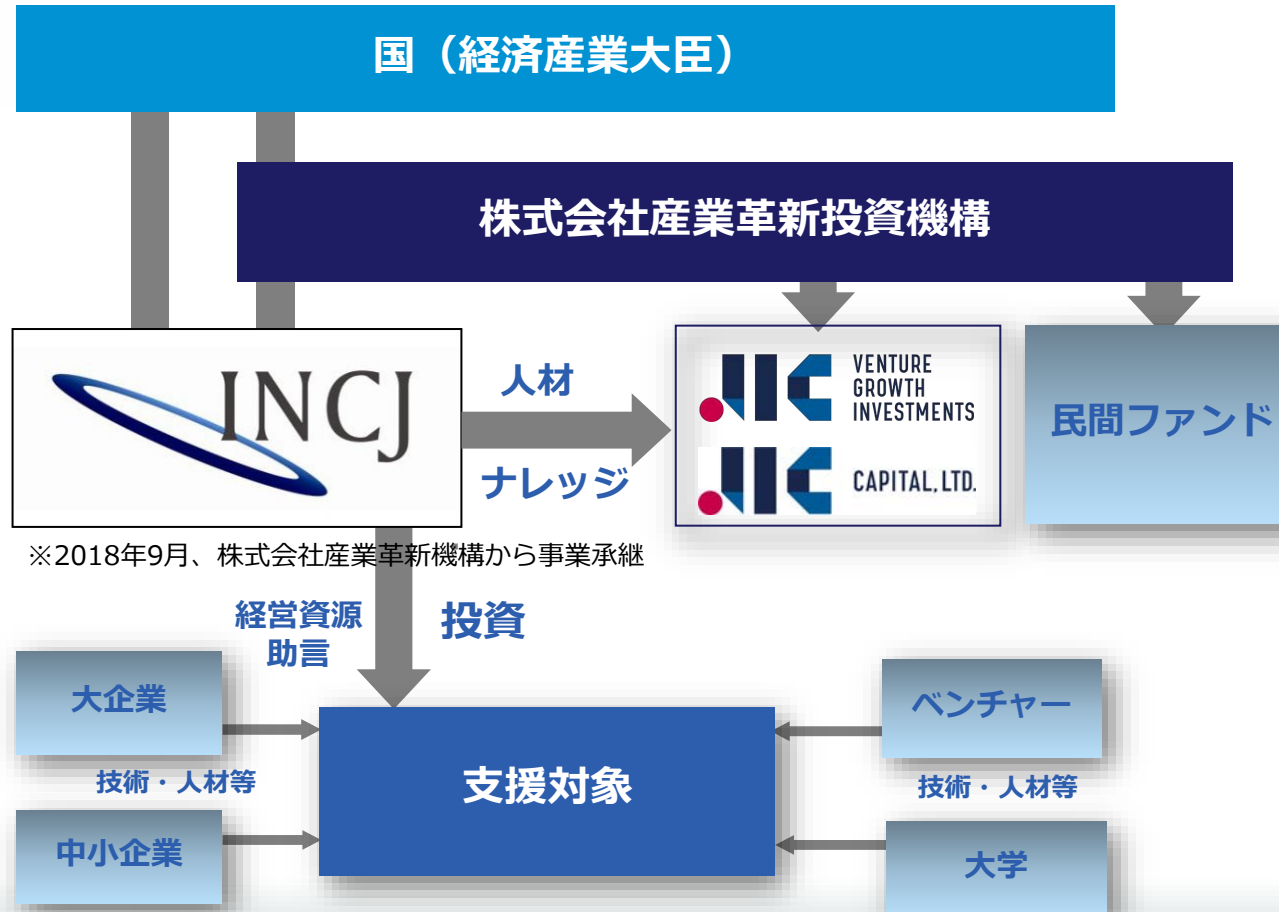
## 組織図



※ コンプライアンス室、内部監査室、経営企画室、経営管理室、組織戦略室関連の業務についてはJICに業務委託を行う

# 実施体制・組織

既投資先への追加投資やハンズオン支援を継続して行うことで、投資先の価値向上を図るとともにExitに向けた取り組みを行う。



※2018年9月、株式会社産業革新投資機構から事業承継

注) 2018年9月の会社分割後も、投資・Exitの案件ごとに経済産業大臣に直接、意見照会を実施している。

# 経営幹部の紹介

## 代表取締役会長（CEO兼 産業革新委員）

### 志賀 俊之 しが としゆき



1953年9月16日 生  
1976年3月 大阪府立大学経済学部卒業  
1976年4月 日産自動車株式会社入社  
2000年4月 同社常務執行役員  
2005年4月 同社最高執行責任者  
2005年6月 同社代表取締役、最高執行責任者  
2013年11月 同社代表取締役、副会長  
2015年6月 同社取締役、副会長  
2015年6月 株式会社産業革新機構 代表取締役会長  
2017年6月 日産自動車株式会社 取締役  
2018年9月 株式会社INCJ 代表取締役会長（現職）

## 代表取締役社長（COO兼 産業革新委員）

### 勝又 幹英 かつまた みきひで



1960年5月21日 生  
1983年3月 東京大学教養学部卒業  
1983年4月 株式会社日本興業銀行入行  
1999年8月 メリルリンチ日本証券株式会社ディレクター  
2002年4月 日本みらいキャピタル株式会社パートナー、取締役CFO  
2007年4月 ニュー・フロンティア・キャピタル・マネジメント株式会社  
代表取締役社長  
2010年6月 モバイル・インターネットキャピタル株式会社  
代表取締役社長  
2015年4月 株式会社産業革新機構 専務執行役員  
2015年6月 同社 代表取締役社長  
2018年9月 株式会社INCJ 代表取締役社長（現職）

## 経営幹部

専務取締役	豊田 哲朗
取締役	大内 聡
取締役	諸永 裕一
常務執行役員	東 伸之
執行役員	芦田 耕一
執行役員	大重 信二
執行役員	ニクライ パーテル

# 基本方針

オープンイノベーションを通じて  
次世代の国富を担う産業を育成・創出する

## 基本方針

- 収益性・実現可能性と、社会的な意義（投資インパクト）を重視
- 中長期のリスクマネーを提供  
（実投資額に対する長期の回収倍率（Multiple of Cost : MoC）を重視）
- 民間だけではリスクが高く投資が困難な分野への投資  
（民間業・民間ファンドと協働し、呼び水効果を創出）

## 投資基準

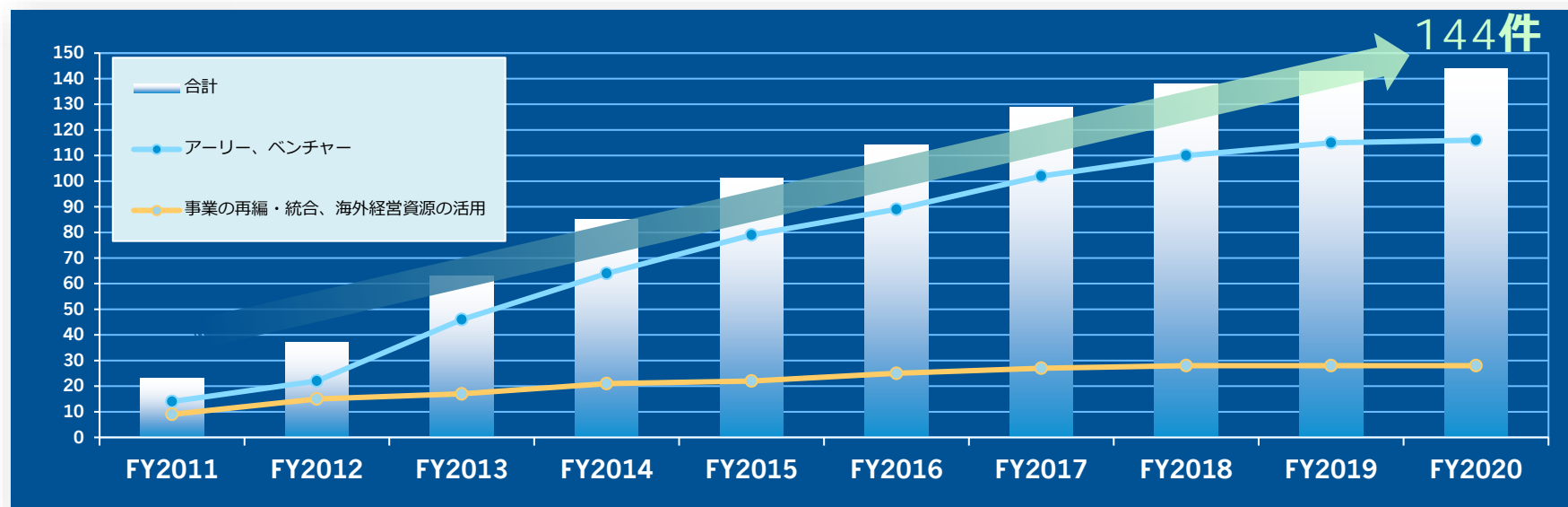
- ①社会的ニーズへの対応、②成長性および③革新性が認められること

# 投資実績（概要）

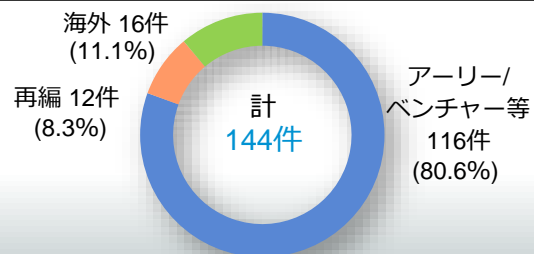
※産業革新機構時を含む

2023年5月末時点

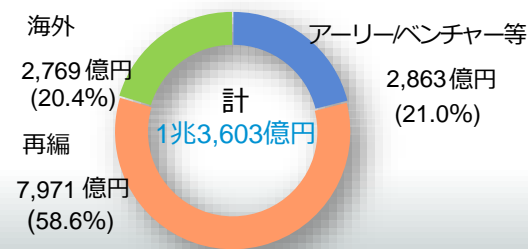
## 投資決定件数推移（累計）



## 投資決定件数（累計）

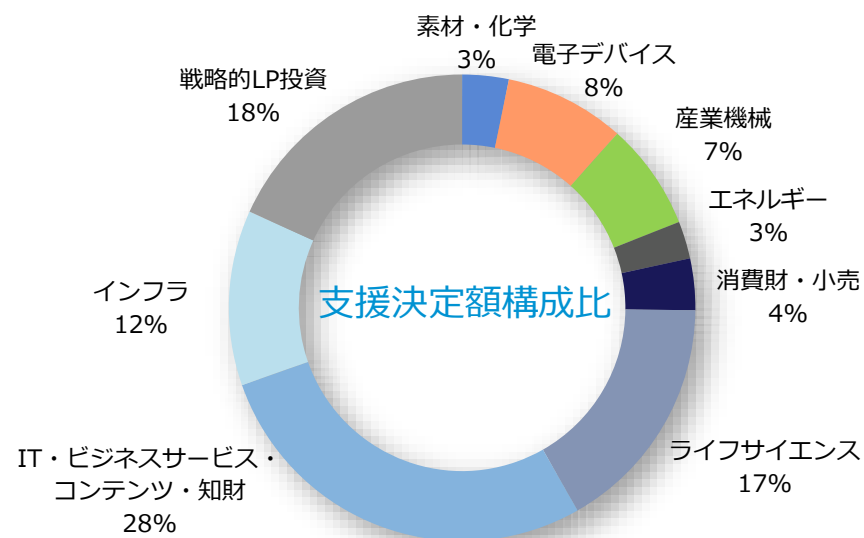
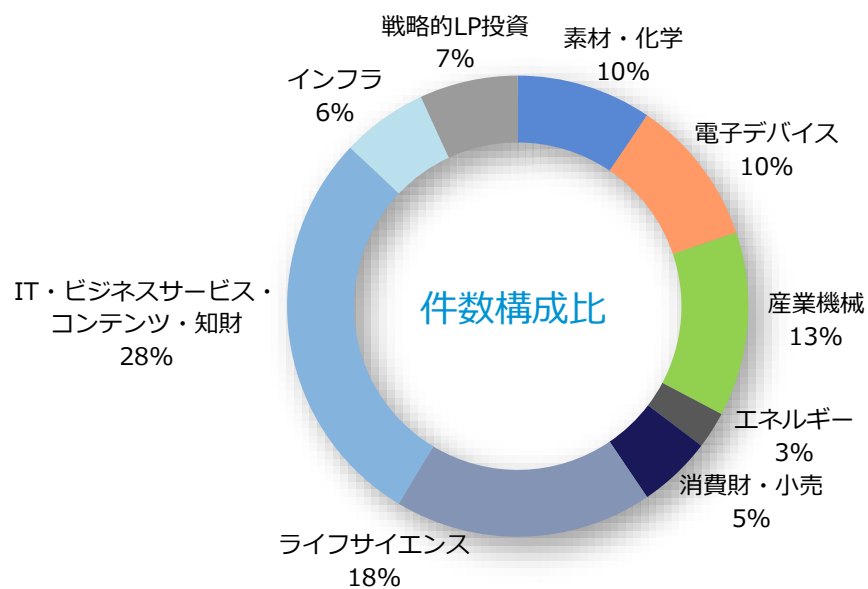


## 支援決定金額（累計）



# 投資実績（スタートアップ分野）

## アーリーステージ&ベンチャー 産業別実績



(2023年5月末現在)



# 投資実績 (全案件の分野・ステージ)

□ は売却を開始もしくは完了したものとします。

	素材・化学	電子デバイス	産業機械	エネルギー	輸送・自動車	消費財・小売 (含サービス)	健康・医療	IT・ビジネスサービス・コンテンツ・知財	インフラ (含サービス)	戦略的LP投資
アーリーステージ	<b>UniZeo</b> 高機能セラミクス	<b>exvition</b> ジェスチャーUI	<b>Neji Law</b> 最先端技術の事業化	<b>XTIA</b> 「光コム」検査機器	<b>SHEAR POWER</b> シーラー 新型太陽電池の事業化	<b>GROOVE X</b> 家庭用ロボット	<b>ライサイエンス 知財ファンド</b> LSIP	<b>音声検索技術</b> インキュベーション	<b>ClipLine</b> 新規就業者支援	<b>ジャパン</b> マルチメディア放送
	<b>ZEPTOR</b> LiB電極	<b>XCarbriFX</b> ディスプレイコントローラ	<b>ASTRO SCALE</b> 宇宙デブリ除去衛星	<b>AXELSPACE</b> 小型光学衛星	<b>BeeEdge</b> 新規ビジネス 事業化推進支援	<b>Pharmax</b> アルツハイマー治療薬	<b>Shift One</b> モーションコミック	<b>SOINN</b> 汎用的人工知能	<b>umitron</b> 建設現場金融分析	<b>UTEC</b> 本格的産学連携VC
	<b>MC</b> 銅ペースト	<b>Trigence</b> デジタルスピーカー技術	<b>Nileworks</b> 農業用ドローン	<b>IXS</b> インフラ点検ロボット	<b>MediGen</b> 医療機器・インキュベーションファンド	<b>ODTI</b> 在宅医療プラットフォーム	<b>miselu</b> ソーシャル楽器	<b>FARMOTE</b> 水産養殖 IoT	<b>LAND DATA BANK</b> 建設現場金融分析	<b>UMU</b> 素材・化学分野におけるベンチャー投資
	<b>Elephantech</b> フレキシブル基板	<b>QUADRAC</b> 大規模処理サーバ/人体通信技術	<b>i space</b> 月面探査・資源探査	<b>LINKUS Co., Ltd.</b> 超算資金調達支援	<b>Rena</b> 核融合医療技術開発	<b>CDI</b> AIクアプラン	<b>hey</b> スマート音楽決済	<b>nextremer</b> AI対話システム	<b>ATR</b> AI/VR	<b>TechAccel</b> オープンイノベーションVC/アクセラ
	<b>LEシステム株式会社</b> RFID電解液製造開発	<b>ATONARP</b> リアルタイム分析	<b>ISpace</b> 月面探査・資源探査	<b>LINKUS Co., Ltd.</b> 超算資金調達支援	<b>CDI</b> AIクアプラン	<b>hey</b> スマート音楽決済	<b>nextremer</b> AI対話システム	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション	<b>TR</b> AI/VR
	<b>Ridge-i</b> AI・宇宙産業 画像解析技術	<b>AS-M</b> 高分子材料	<b>SQUSE</b> フラッシュメモリ	<b>ENAX</b> LiB	<b>PRISM</b> PPF前部による 新薬開発	<b>Oh My Glasses</b> 眼鏡SPA	<b>UV</b> 紫外線殺菌機器	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>peach</b> LCC	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション
	<b>ALPS</b> 電源コア・電流センサ	<b>GENUSON</b> フラッシュメモリ	<b>Spectronics</b> レーザ発振器	<b>OH MY GLASSES</b> 眼鏡SPA	<b>Quantum Biocystems</b> 次世代シーケンサー	<b>Stella Pharma</b> がん放射線治療	<b>IPBridge</b> 知財ファンド	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>peach</b> LCC	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション
	<b>ALPS</b> 電源コア・電流センサ	<b>GENUSON</b> フラッシュメモリ	<b>Spectronics</b> レーザ発振器	<b>OH MY GLASSES</b> 眼鏡SPA	<b>Quantum Biocystems</b> 次世代シーケンサー	<b>Stella Pharma</b> がん放射線治療	<b>IPBridge</b> 知財ファンド	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>peach</b> LCC	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション
	<b>ALPS</b> 電源コア・電流センサ	<b>GENUSON</b> フラッシュメモリ	<b>Spectronics</b> レーザ発振器	<b>OH MY GLASSES</b> 眼鏡SPA	<b>Quantum Biocystems</b> 次世代シーケンサー	<b>Stella Pharma</b> がん放射線治療	<b>IPBridge</b> 知財ファンド	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>peach</b> LCC	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション
	<b>ALPS</b> 電源コア・電流センサ	<b>GENUSON</b> フラッシュメモリ	<b>Spectronics</b> レーザ発振器	<b>OH MY GLASSES</b> 眼鏡SPA	<b>Quantum Biocystems</b> 次世代シーケンサー	<b>Stella Pharma</b> がん放射線治療	<b>IPBridge</b> 知財ファンド	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>peach</b> LCC	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション
ベンチャー企業	<b>ALPS</b> 電源コア・電流センサ	<b>GENUSON</b> フラッシュメモリ	<b>Spectronics</b> レーザ発振器	<b>OH MY GLASSES</b> 眼鏡SPA	<b>Quantum Biocystems</b> 次世代シーケンサー	<b>Stella Pharma</b> がん放射線治療	<b>IPBridge</b> 知財ファンド	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>peach</b> LCC	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション
	<b>ALPS</b> 電源コア・電流センサ	<b>GENUSON</b> フラッシュメモリ	<b>Spectronics</b> レーザ発振器	<b>OH MY GLASSES</b> 眼鏡SPA	<b>Quantum Biocystems</b> 次世代シーケンサー	<b>Stella Pharma</b> がん放射線治療	<b>IPBridge</b> 知財ファンド	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>peach</b> LCC	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション
	<b>ALPS</b> 電源コア・電流センサ	<b>GENUSON</b> フラッシュメモリ	<b>Spectronics</b> レーザ発振器	<b>OH MY GLASSES</b> 眼鏡SPA	<b>Quantum Biocystems</b> 次世代シーケンサー	<b>Stella Pharma</b> がん放射線治療	<b>IPBridge</b> 知財ファンド	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>peach</b> LCC	<b>GROUND</b> AI・ロボ 物流ソリューション
事業の再編・統合	<b>LIB</b> LIB素材	<b>JOLED</b> 有機EL ディスプレイパネル	<b>Vehicle Energy Japan</b> HV自動車用LIB	<b>UNICARRIERS</b> フォークリフト再編	<b>Sumse Healthcare Service</b> カンパニイ救急センター	<b>UNIVERSAL VIEW</b> 紫外線殺菌機器	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション
	<b>RENEASAS</b> 半導体: MCU, A&P, SoC	<b>JOLED</b> 有機EL ディスプレイパネル	<b>Vehicle Energy Japan</b> HV自動車用LIB	<b>UNICARRIERS</b> フォークリフト再編	<b>Sumse Healthcare Service</b> カンパニイ救急センター	<b>UNIVERSAL VIEW</b> 紫外線殺菌機器	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション
	<b>transpherm</b> GaNパワー半導体	<b>JOLED</b> 有機EL ディスプレイパネル	<b>Vehicle Energy Japan</b> HV自動車用LIB	<b>UNICARRIERS</b> フォークリフト再編	<b>Sumse Healthcare Service</b> カンパニイ救急センター	<b>UNIVERSAL VIEW</b> 紫外線殺菌機器	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション
	<b>transpherm</b> GaNパワー半導体	<b>JOLED</b> 有機EL ディスプレイパネル	<b>Vehicle Energy Japan</b> HV自動車用LIB	<b>UNICARRIERS</b> フォークリフト再編	<b>Sumse Healthcare Service</b> カンパニイ救急センター	<b>UNIVERSAL VIEW</b> 紫外線殺菌機器	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション
海外経営資源の活用	<b>Oil Fibre Solutions</b> 光ファイバー向け通信機器	<b>transpherm</b> GaNパワー半導体	<b>Landis</b> スマートメーター	<b>Chaußer</b> 果物を中心とした フリーズドライ	<b>Sumse Healthcare Service</b> カンパニイ救急センター	<b>UNIVERSAL VIEW</b> 紫外線殺菌機器	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション
	<b>Nistco</b> 半導体: MCU, A&P, SoC	<b>transpherm</b> GaNパワー半導体	<b>Landis</b> スマートメーター	<b>Chaußer</b> 果物を中心とした フリーズドライ	<b>Sumse Healthcare Service</b> カンパニイ救急センター	<b>UNIVERSAL VIEW</b> 紫外線殺菌機器	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション
	<b>Nistco</b> 半導体: MCU, A&P, SoC	<b>transpherm</b> GaNパワー半導体	<b>Landis</b> スマートメーター	<b>Chaußer</b> 果物を中心とした フリーズドライ	<b>Sumse Healthcare Service</b> カンパニイ救急センター	<b>UNIVERSAL VIEW</b> 紫外線殺菌機器	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション	<b>AGRA</b> データ統合ソリューション
										<b>AGRA</b> データ統合ソリューション

(2023年5月末現在)

# 残り2年間の運営方針

## 2025年3月にむけてのExit計画

- ・ INCJとしての新規投資案件は終了。
- ・ 今後の2年弱は既投資先のValue upとExit活動に集中。
- ・ 2023年3月末で、総投資案件数は144件、Exitは95件。
- ・ 今後、2025年3月末までに49件のExit活動を行っていく。



INCJの仕上げに向けて非常に重要な段階へ

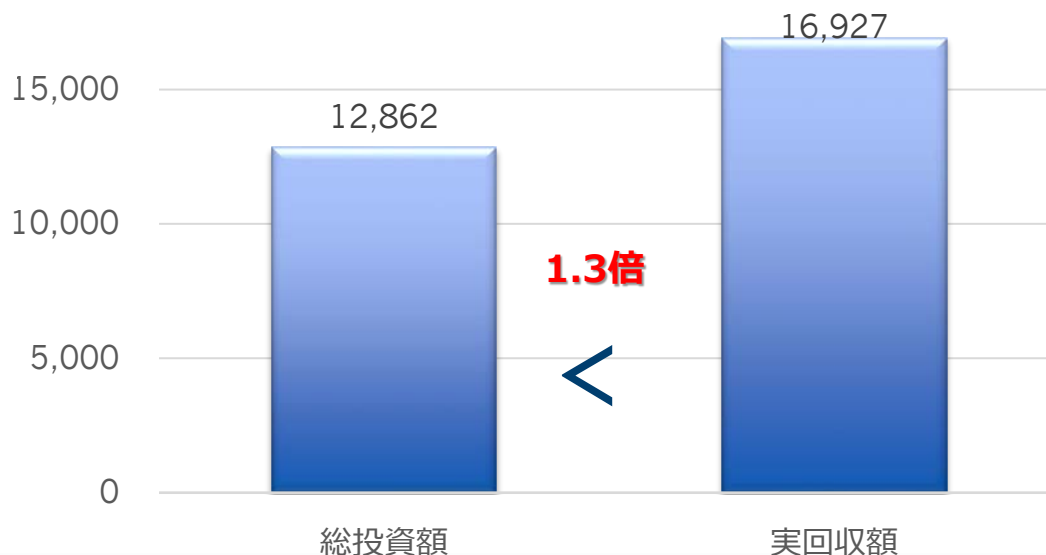
	総投資案件数	Exit	未Exit
2021年3月末	144件	62件	82件
2022年3月末	144件	79件	65件
2023年3月末	144件	95件	49件

# INCJの実績（総投資vs.実回収） ※産業革新機構時を含む

- 新規投資は2020年度に終了。2022年度は、さらに回収額が積み上がり、年度末時点での実回収額が全投資案件の総投資額を大きく上回る結果に。
- 今後の環境変化に対して打たれ強い投資ポートフォリオを構築。
- 2025年3月に向けて、全案件のEXITと総回収額の上積みを目指す。
- なお、INCJは国からの出資額を大きく超える額を国へ納めている状況。

## Exit実績（2023年3月末時点：101件(一部EXITも含む)）

(単位：  
億円)



※実回収額の確定値は決算プロセス完了後に8月の定例記者会見で公表予定

## INCJ→国への累積支払実績

累積実績	
①国からの出資額	2,860億円
②国への配当額	1,463億円
③法人税等（租税公課含む）	2,887億円
②③計	4,350億円

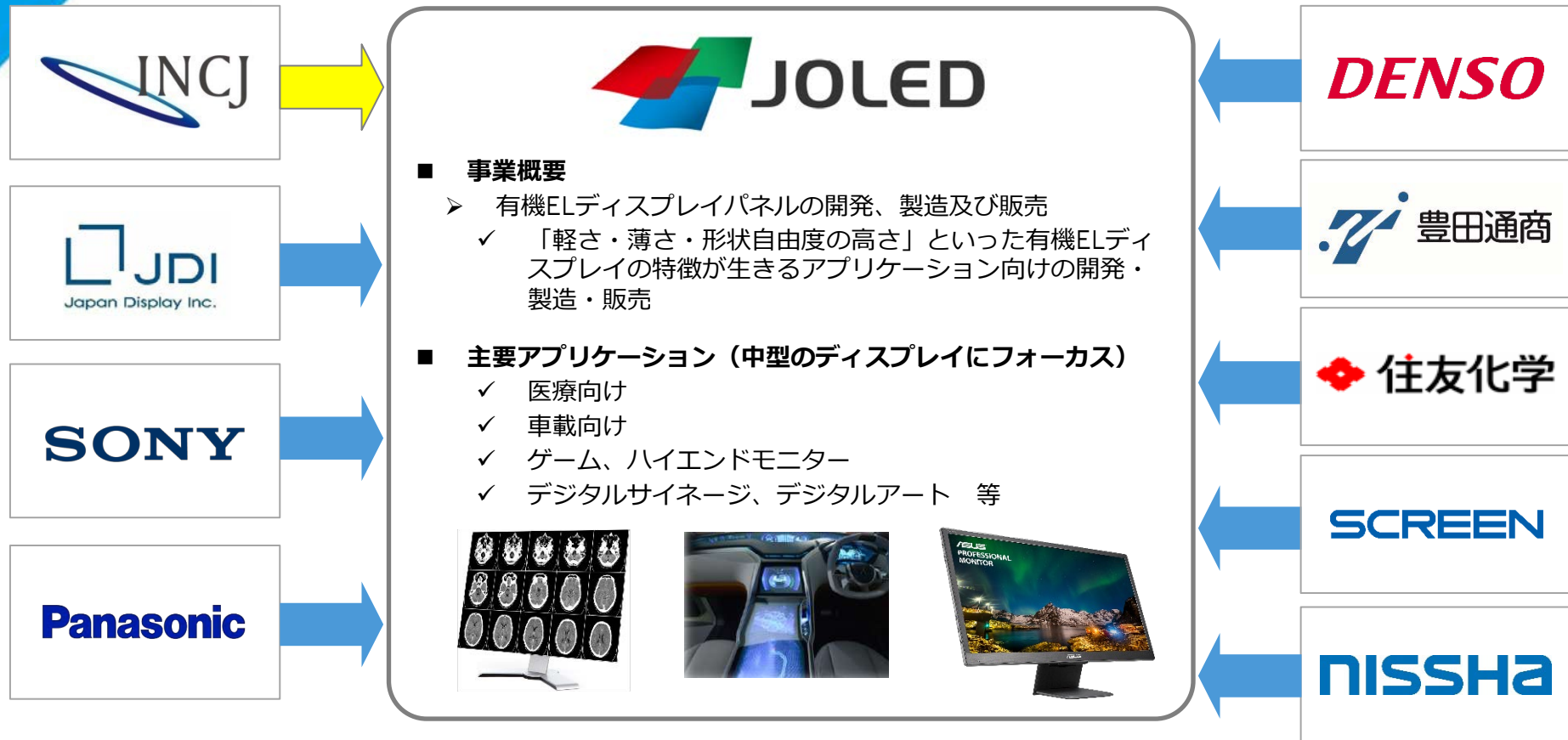
※ ①には2021年のJICへの増資分（約809億円）は含まれていない

# JOLEDの案件概要

投資対象：株式会社JOLED（ジェイオーレッド）

事業内容：有機EL（OLED）ディスプレイパネルの開発、量産技術の開発及び事業化

初回支援決定公表日：2014年7月31日



- 国内の有機ELディスプレイパネルに関する世界最高水準の技術・リソースを集結
- JOLEDは世界で初めて印刷方式有機ELディスプレイの量産化体制の構築を進める

# JOLEDに対する支援と事業進捗①

- INCJのエクスポージャー1,390.5億円（株式1,190.5億円、債権200億円）

支援決定公表月	①2014/7	②2018/6	③2019/4	④2021/7	⑤2022/7
支援決定金額（上限）	250	200	200	200	134
実支援金額	250	192.5	200	200	85

（単位：  
億円）

- ① 新会社設立に伴う初回投資。2015年1月にINCJ・ジャパンディスプレイ（JDI）・ソニー・パナソニックで会社設立。2017年12月に医療用モニタの製品出荷を開始。
- ② JDIから取得した能美工場をJOLEDへ現物出資。2018年7月に量産工場として能美事業所を開設。
- ③ ソニー・NISSHAと共同で追加出資。2019年4月に量産化に向けた後工程製造ラインとして千葉事業所を開設。
- ④ 2019年11月に能美事業所で印刷OLEDとして世界初の量産ラインを稼働開始したものの、開発・製造プロセスで目標未達が続き、同事業所の運転資金として貸付。
- ⑤ 2020年6月に世界最大のTVパネルメーカーTCL科技集団の子会社である華星光電（CSOT）と資本業務提携を締結するとともに技術ビジネスを開始。量産化の目途が立ったことを受け、共同開発継続を期待するCSOTと共に追加支援。

※その他、JDIへの貸付金の一部に対して、JDIが保有するJOLED株式（463億円分）を代物弁済により取得

# JOLEDに対する支援と事業進捗②

## ■ その後の進捗

- 設備投資等を通じて製品量産ラインの歩留まり改善は一定程度進んだものの、コロナ後に巣ごもり需要が減速したこともあり製品販売の不振は継続。
- 製品ビジネス事業を継続することが困難となり、本年3月27日にJOLEDが民事再生手続きを申し立て、4月3日に裁判所が再生手続き開始を決定。
- 量産による自走を目指し、最終的には事業会社に引き継ぐ前提で追加投資を行ってきたが、投資会社の限界に達しており、これ以上の支援は難しいと判断。

## ■ 現時点における総括

- “技術で勝って、事業で負ける”という悪循環を脱しようとして一般民間ファンドでは困難な投資を行い、当時は誰も作れなかった世界に冠たる印刷OLED技術を用いた有機ELディスプレイの製品化を遂行。
- 世界初の印刷方式有機ELディスプレイ量産ラインを稼働させ、高性能・高品質な有機ELディスプレイを、ハイエンドモニター・医療用モニター・車載向けモニターとして生産・上市するなど一定の成果。
- ライセンス収入の獲得や知財のマネタイズでも顕著な成果を上げたが、製品ビジネス遅延のダメージを補うには至らず、民事再生の結末には断腸の思い。

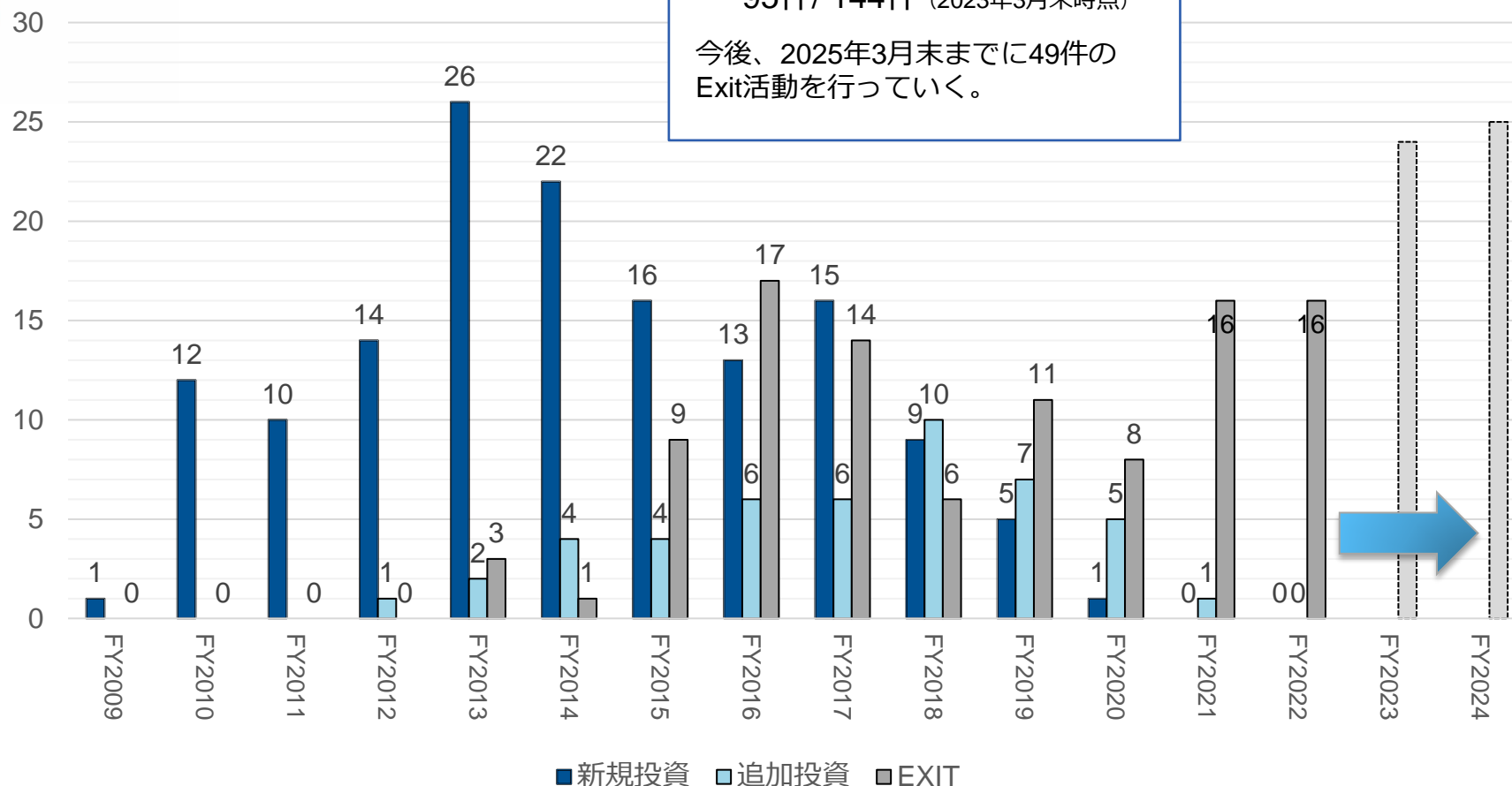


# 【参考】新規・追加投資およびエグジット推移（発表件数）

## 今後、49件のExit案件

**Exit件数 / 投資決定件数**  
 95件 / 144件 (2023年3月末時点)

今後、2025年3月末までに49件のExit活動を行っていく。





<https://www.incj.co.jp/>